

編集顧問

生田 房弘	石塚 典生
糸山 泰人	岩田 誠
内山真一郎	臺 弘
大友 英一	梶 龍兒
金澤 一郎	高坂 新一
酒田 英夫	作田 学
島津 浩	杉田 秀夫
高倉 公朋	塚田 裕三
辻 省次	寺本 明
中里 洋一	中込 忠好
中野 今治	彦坂 興秀
平山 恵造	藤澤浩四郎
真柳 佳昭	水澤 英洋
水野 美邦	柳澤 信夫

編集委員

河村 満	(編集主幹)
神田 隆	桑原 聡
酒井 邦嘉	泰羅 雅登
三村 將	森 啓

編集同人

入来 篤史	岩田 淳
宇川 義一	内原 俊記
大隅 典子	岡部 繁男
木村 和美	久保 義弘
栗栖 薫	小林 靖
斉藤 延人	砂田 芳秀
高橋 良輔	瀧山 嘉久
武田 伸一	千葉 厚郎
平田 幸一	寶金 清博
星 英司	星野 幹雄
本田 学	松野 彰

(五十音順)

あとがき

今月号は、年に3回ある増大特集号です。本号のテーマ「パーキンソン病の新しい側面」は、平田幸一先生にゲスト・エディターとしてご企画いただきました。

パーキンソン病には、認知機能障害、うつ、パニックなど運動障害以外のさまざまな症候がみられることが、最近注目されています。それらを鳥瞰することが、「新しい側面」からパーキンソン病をとらえることだという平田先生の主張がよく表現されている特集になっています。その背景を考えるうえで、Braak 仮説の重要性が指摘され、これら非運動症状の早期発見が早期治療につながるか否かも議論されています。

これは私自身の問題意識とも重なります。2000年より少し前、今から15、6年ほど前からパーキンソン病患者をみる機会が増え、教室員の多くとともに、例えば表情認知、意思決定、心の理論機能、嗅覚について検討し、それらが扁桃体機能障害と関連するのではないか、と思うようになりました。今後は、これらの長期経過の検討と早期診断への応用が私たちのテーマですが、本特集にはその研究を進めていくためのヒントが山のように記載されていました。多くの読者がきっと同じ感想を抱くに違いありません。

特集と合わせて特別鼎談もぜひご覧ください。2012年がレヴィ小体発見100年目にあたることを昨年末に偶然知り、本号に間に合うよう急いで鼎談を企画したのですが、時間のない中で、まず関連文献の収集に時間を割きました。

レヴィの原著は私の蔵書になく、急遽購入しました。送られてきた原著を開き、本鼎談にも掲載したレヴィ小体のカラー写真をみたときには、何ともいえない感動を覚えました。神経内科医になり、学問もできる環境にいる自分を心から幸せに感じた瞬間です。

その後、集まった文献を、事前に水野美邦先生と中野今治先生にお送りしました。「鼎談までに勉強してくるように」ともとれる失礼極まりない脅迫めいた行為にもかかわらず、水野先生も中野先生もお送りした資料をお正月休みに精読してくださったことが、鼎談をとおして伝わってきました。お2人の誠実な姿勢に尊敬の念を抱くとともに、真摯なご協力に改めて感謝を申し上げます。

昨年の10号、12号に掲載した「Leborgne 報告から150年——人間の本质をみつめた Broca」の座談会から、鼎談や座談会などには注をつけることにしました。これは編集室の発案ですが、私も自分の教室員と一緒に協力しています。この注の作成作業にはなかなか困難が伴います。

例えば、本号の鼎談に「レヴィ小体」の注がありますが、もともとはレヴィ小体という名称を誰が名づけたのかということにも触れたいと思っていました。一説によると、ロシア人神経病理学者トレティアコフ (Konstantin Tretiakoff) がパリ大学の thèse の中で名づけたともいわれています。しかし、1次資料にあたる thèse が入手困難で実物を見ることが叶わず、2次資料では記述がまちまちであったため、事実確認ができないまま時間切れとなり、お蔵入りとしました。

このような労力は報われることはありませんが、必ず本誌の質に反映されるものと信じ、惜しまず努力を続けていきたいと思っています。

(河村 満)

BRAIN and NERVE (第64巻 第4号)

2012年4月1日 (毎月1回1日発行)

定価 3,990 円 [本体 3,800 + 税 5 % (配送料実費)]

2012年 年間購読料 (税込み, 配送料弊社負担)

冊子版 35,670 円, 冊子 + 電子版 個人 40,670 円 / 共有 46,100 円,

電子版 個人 35,670 円 / 共有 41,100 円

販売部直通電話 (03) 3817-5659・5660

振替口座 00170-9-96693 番

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5701 (小藤・多淵・山崎)

FAX (03) 3815-7802

E-mail bn@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/bn>

印刷所 (株)アイワード (011) 241-9341

広告申込所 (株)ハイブリッジエージェンシー (03) 3814-0089

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2012, Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は(株)医学書院が保有します。
- 本誌を無断で複製する行為 (複写, スキャン, デジタルデータ化など) は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的 (診療, 研究活動を含む) で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- JCOPY** (株)出版者著作権管理機構委託出版物
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつど事前に(株)出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。